

# 蕎麦

# 食べて

# いけ!

江上剛

Egami Go



高校生の  
蕎麦打ちサークル  
が町おこしに!?

どこにでもある  
「過疎・後継者不足」  
問題の解消は?

金融機関の役割や  
クラウドファンディングの  
手法まで、  
元バンカーならではの、  
そして優しい視線で  
描き出す。

「ビジネス」と「暮らし」の  
折り合いをどうつける?

光文社

第一章  
勇太と春海

5

第二章  
寿老神温泉活性化プラン

38

第三章  
蕎麦打ちサークルって？

70

第四章  
メガバンクの横暴

104

第五章  
祭りの準備開始

135

目次  
蕎麦、食べていけ！



第五章  
祭りの準備開始

135

第六章  
クラウドファンディング

169

第七章  
リゾートセンター許さず

199

第八章  
寿老神温泉の運命は

226

第九章  
蕎麦打ち選手権に向けて

256

第十章  
貸しはがし

291

最終章  
寿老神温泉は不滅です

324





9784334912246



1920093015004

ISBN978-4-334-91224-6

C0093 ¥1500E

定価(本体1,500円+税)



# 私たちの打った 蕎麦、 食べていけ!

かつての賑わいを失った温泉街。その町で育ち、地元の信用金庫に勤める勇太は、蛇神伝説をもとに新たな祭りを開催し、観光客を呼び込もうという地元活性化案を企画した。その目玉として、大蛇神輿と高校生蕎麦打ちイベントを提案する。その頃、春海たち高校生も全国高校生蕎麦打ち選手権大会に出場するため特訓に励んでいた。そんな中、東京のメガバンクに勤める勇太の兄・勇之介が、リゾート化計画を引っ提げてやってくるが……。

ハラハラドキドキの、  
痛快! 「町おこし」  
エンターテインメント